

## 笠形山よりコルリクワガタを発見

佐藤邦夫

兵庫県中南部の笠形山（標高939m）で、コルリクワガタ *Platycerus acuticollis* を採集したので報告する。

なお、調査・報告にあたり、谷角素彦、田花雅一の両氏にはたいへんお世話になった。ここにお礼を申し上げる。

### 〈採集記録〉

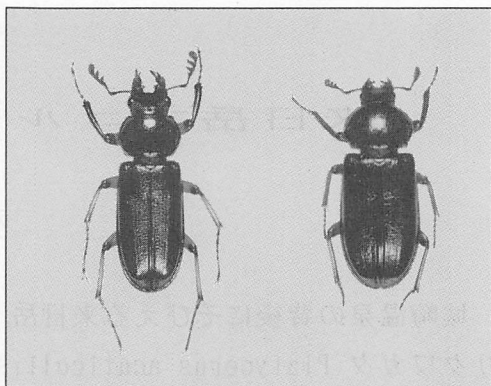
兵庫県神崎郡神崎町根宇野笠形山（北側斜面，標高800～850m付近）

1992-XI-24，12♂♂8♀♀（佐藤邦夫，谷角素彦，田花雅一 採集）

1992-XII-22，1♂（バラバラの死骸）2♀♀（佐藤邦夫 採集）

1992年11月10日に笠形山北側尾根の東側（多可郡八千代町大屋）でコルリクワガタらしき幼虫と産卵マークを発見したことから，11月24日に谷角氏，田花名人の協力得て再度調査して成虫を発見したものである。ちなみに名人一人で16頭も採集している。コルリクワガタ発見のきっかけになった八千代町側は，日当たりがよく乾燥気味で好適な場所ではなく，成虫を採ったのはすべ

て神崎町側（西側）の斜面や谷筋であった。また，文献によると分布しているはずのブナはここでは見つからず，コルリクワガタはコナラに多く見られた。その後の調査でコルリクワガタは北側斜面に広く（と言っても面積はしれている）分布しているようであるが，山頂から南側に続く尾根はササが多く材採集には不向きで，今回は棲息の確認はできなかった。1993年1月17日に調査のため登ったところ，尾根を境として八千代町側は晴れているのに，神崎町側は吹雪で真っ白，5cmほどの積雪があり材も凍結し調査にならなかったが，コルリクワガタの棲息環境を知るうえでよい経験となった。



波

兵庫県のコルリクワガタは調査が不十分なこともあるが、北西部の鳥取県境付近と北部の日本海側に面した山岳地帯の一部からしか報告されていない。今回発見された笠形山からもっとも近いと思われる宍粟郡芳賀町赤西溪谷でも、直線距離で30km以上も離れている。この地域は兵庫県のみならず、近畿全体から見てもコルリクワガタ分布の空白地帯となっており、非常に興味深い発見となった。

に 笠形山は播磨富士と言われるようにほぼ独立峰といってよく、特異な植物分布を示す有名な山であるが、昔からの林業地帯でもあり、御多分に漏れず頂上付近まで植林されている。しかし、昆虫の調査はほとんどされておらず、植物同様に面白いものが発見される可能性が高い。蛇足ながら、この付近には鹿が多くあちこちと通り道と糞があり、姿を見ることもよくある。猟期には、コルリクワガタの材を割っていると、猟犬がのぞきに来ることもある。吠えられたことはないが、間違えてハンターに撃たれないよう派手な色の服装で採集を行うことを薦める。

## 来日岳でコルリクワガタを採集

永幡嘉之

城崎温泉の背後にそびえる来日岳（標高567m）でコルリクワガタ *Platycerus acuticollis* を採集しているので報告する。

1 ♀ 兵庫県城崎郡城崎町来日岳

25-XI-1992 永幡嘉之

山頂から北東にわずかに下った所のブナ・ミズナラ林の林床の朽ち木から得た。本種としては、かなり低標高の産地であると思われる。採集に際していろいろなアドバイスを受けた谷角素彦氏に御礼申し上げる。

